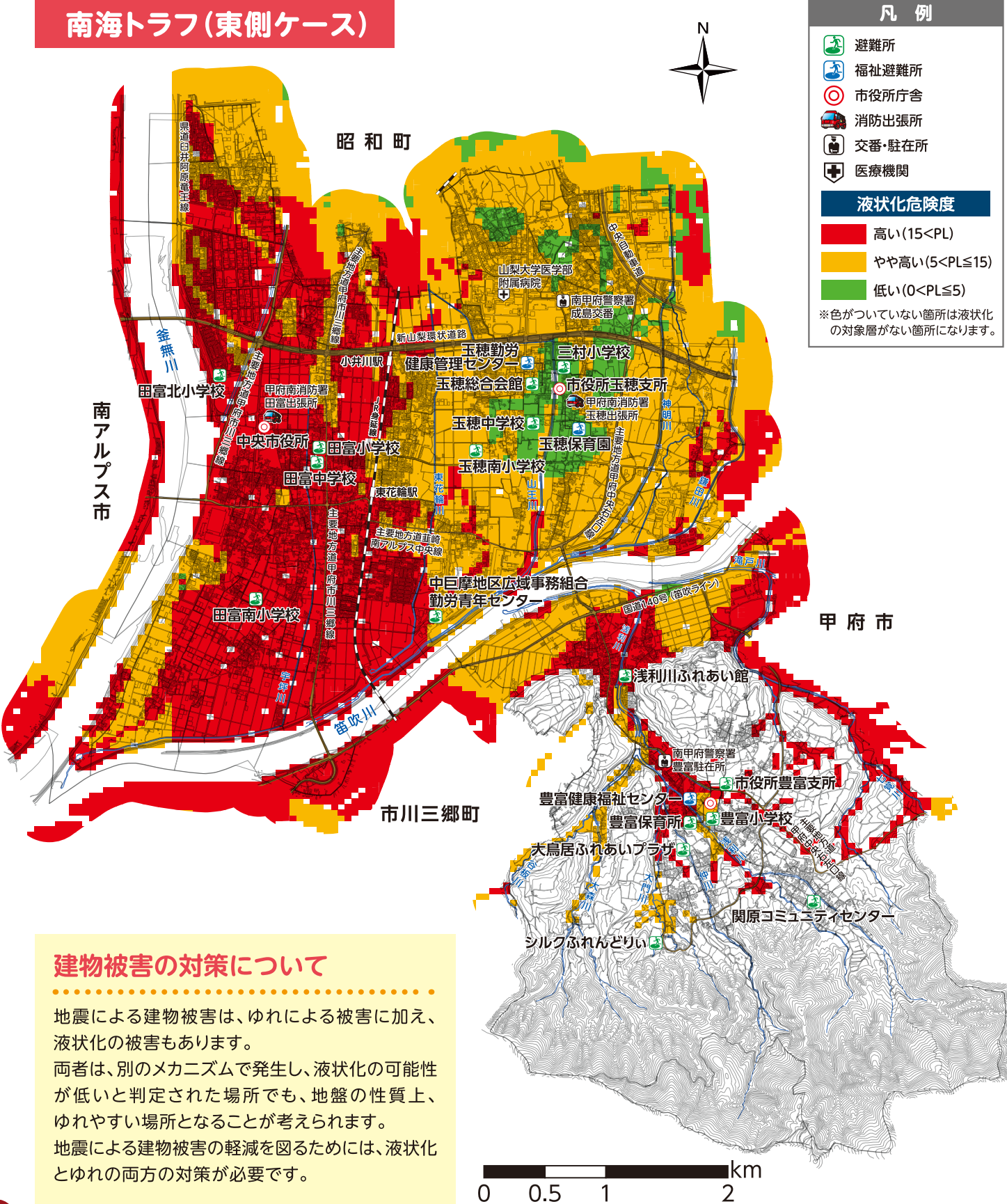


# 液状化ハザードマップ

山梨県地震被害想定調査結果(令和5年5月)に基づき、南海トラフ地震が発生した場合、中央市における液状化の危険度を予測した結果を液状化ハザードマップとして掲載しています。液状化ハザードマップの色分けは、あくまでも予測結果であることをご理解のうえ、ご活用ください。

## 南海トラフ(東側ケース)



**凡例**

- 避難所
- 福祉避難所
- 市役所庁舎
- 消防出張所
- 交番・駐在所
- 医療機関

**液状化危険度**

- 高い(15<PL)
- やや高い(5<PL≤15)
- 低い(0<PL≤5)

※色がついていない箇所は液状化の対象層がない箇所になります。

**建物被害の対策について**

地震による建物被害は、ゆれによる被害に加え、液状化の被害もあります。両者は、別のメカニズムで発生し、液状化の可能性が低いと判定された場所でも、地盤の性質上、ゆれやすい場所となることが考えられます。地震による建物被害の軽減を図るためには、液状化とゆれの両方の対策が必要です。